

## 28年度 氷見市教育総合センターだより 第2報

## 学力向上研修会

演題 「学び合う授業づくり ～拠点校の取組から～」 5月17日実施  
 講師 富山県総合教育センター学力向上推進チーム 主任研究主事 上田 靖 先生  
 研究主事 横野 誉子 先生

今年度の教育総合センター主催の研修会がいよいよ始まりました。「学力向上研修会」には、市内小中学校の教務主任 20 名が参加しました。講師の先生方からは、平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果や拠点校の学力向上への取組を「学び合う授業づくり」の視点から、具体的にお話をいただきました。



また、今年度、新たに加えられた児童生徒質問紙、学校質問紙の内容や趣旨、活用の仕方等についても懇切に教えていただきました。

以下、参加者の感想の一部を紹介します。

- ・本校は若手教員が多く、学級によって授業の進め方、考え方はかなり違いがある。教務主任として子供たちがよりよい学びができるような研修を行っていく必要があると感じた。
- ・教務主任として、研究主任と連携しながら、学び合いを深める環境づくり（人間関係づくり）と授業づくりを中心にしっかりとした方向性を示していきたいと思った。
- ・本日聞いた各校（拠点校）での取組の中でよいと思われることを伝え、学び合いを意識できるようにしたいと考えた。また、ポイントをしぼった質問紙分析の仕方に関する講話は新鮮であり、今後、自校でも質問紙分析を踏まえた研修を行い、効果的に活用したい。

## 第 1 回生徒指導研修会

演題 Q-U調査を活用した学級集団づくり 6月2日実施  
 講師 氷見市教育総合センター 所長 光安 淳子 先生

児童生徒や学級の状態をより客観的に把握するために、教師の見立てや生活ノート等の活用、教職員間の情報共有だけでなく、一つのツールとしてQ-U調査を実施し活用することが有効です。

今回の研修会では「学級集団づくりにQ-U調査活用を推進する理由」「Q-U調査の分析の仕方」等について研修し、最後にはサンプル事例を基に、グループに分かれて活用方法を話し合いました。

## ＜学級の状態に応じたアプローチ＞

## ◆対応のポイント

- ・リレーション（つながり）の育成  
「認められている」という思い
- ・ルールの確立  
「嫌なことはされていない」という安心感



- ・これまでもQ-U調査をしてきたが、十分に生かせていなかった。結果の分析→対策→振り返り等が不十分であった。今年度もQ-U調査と学級力アンケートに取り組みるので、研修会等を通して学級づくりに生かしていきたい。
- ・グループでは、例を参考に課題やアプローチの仕方を考えることで、さらにQ-U調査を活用していけることが分かった。
- ・Q-U調査の結果をもう一度見直し、一人一人、そして集団に合ったアプローチを考えたいと思った。低い評価の部分だけでなく、子供がよい評価をしている部分も把握し、関わりたいと思った。

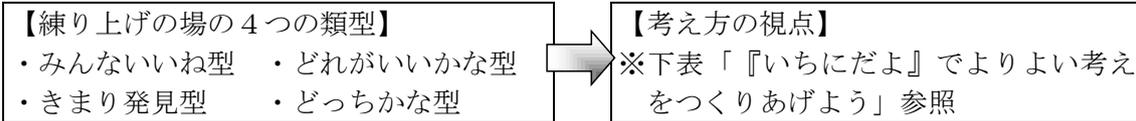
平成 26・27 年度学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業拠点校の取組から  
 関わり合いながら、考えをつくり上げていく学習活動の工夫  
 ～算数科の学習を通して～

氷見市立十二町小学校

1 主な研究内容 ～考えを練り上げる3つの話合いの場の工夫～

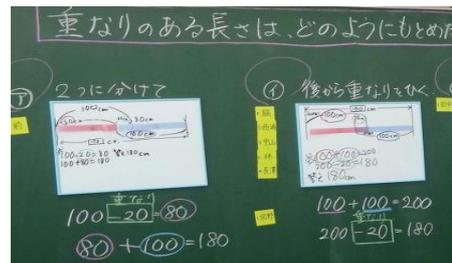
(1) よりよい考えをつくり上げていく児童の姿の具体化

4つに類型化した練り上げの場と児童に身に付けさせたい5つの考え方の視点を基に「練り上げの場における授業構想図」を作成した。教師は、これを手がかりに学習のねらいに応じた学習過程の工夫や発問の吟味、学習時における児童の思考の流れの見取りに努めた。



(2) 児童の思考の流れの可視化や話合いの焦点化

話合いの場では、互いの考え方で関わり合うことができるように、児童の考えをホワイトボードや学習シート上に半具体物や図、言葉、式等を用いて可視化した。児童の発表に利用するだけでなく、授業のねらいに応じて焦点化した話合いがなされるように教師が板書に活用した。



〈児童の思考の可視化と板書への活用〉

(3) 「考え方の型」の活用

児童がよりよい考えをつくり上げる際のアイテムとして、前述の「練り上げの場における授業構想図」を基に、「『いちにだよ』」でよりよい考えをつくり上げよう」を作成した。児童のノートに貼付するとともに、教室前面にも掲示し、日常的に活用できるようにした。「いちにだよ」を共通の符号として、考えを書く場や話合いの場で使い、自分の考え方の広がりや深まりを実感したり、「次は、『い』の考え方をしてみよう」など、積極的に考える力を伸ばそうとしたりすることができるようにした。

『いちにだよ』でよりよい考えをつくり上げよう

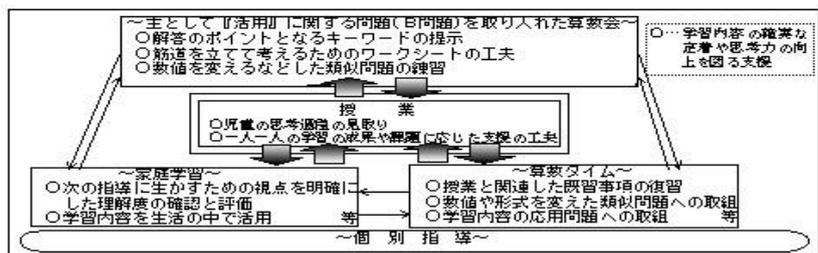
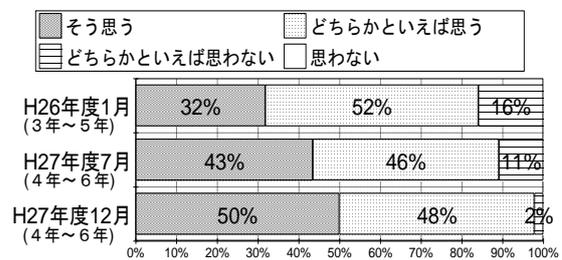
記号	意味	考え方 5つのアイテム
㊦	「いつでも憶えるかな・・・」 「いつでも憶えるようにするには・・・」 「もし～だったら・・・」	場面を広げて憶える
㊧	「違うところは・・・」	相違点を見いだす
㊨	「似ている(同じ)ところは・・・」 「～すると、同じになる」	共通点やきまりを見いだす
㊩	「だって・・・」	根拠を明らかにする
㊪	「気に入ったところは・・・」 「よりよいやり方は・・・」 「もっといい方法があるよ」	よさを見いだす

〈考え方の5つのアイテム「いちにだよ」〉

2 今後に向けて

- 児童の自己評価結果のグラフを見ると、「友達との話合い活動等で自分の考えを深めたり広げたりできたと思う」児童が、32%から50%にまで増えた。今後は、児童がより主体的に考えを深めたり広げたりしていくことができるように、児童の問題意識や思考の流れを大切に学習過程の在り方について研修を深めていく。
- 授業で学んだ学習内容や考え方が確かな力として児童に身に付くように、右図のように授業と家庭学習、算数会、個別学習等と連動した取組を継続して進めていく。

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている



## 今年度の小中連携教育について

### 氷見市の基本方針

「9年間の学びをつなぐ・支援をつなぐ」を基本理念として、校区の実情に応じた小中連携教育を推進する。

- 小中学校間の段差を軽減し、円滑な接続を図る。
- 系統的、継続的に学びや支援を積み重ね、健全な育成を図る。
- 教職員の指導力向上と、児童生徒の学力向上を図る。



(英語の授業体験)

### 全校区で計画されている事項

	組織・計画について	学習指導について	生徒指導について
南部中校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区3校校長会、教頭会</li> <li>・推進委員会及び3部会運営委員会</li> <li>・部会協議会(各校全教員)(学習指導部会、生徒指導部会、家庭・地域連携部会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への乗り入れ授業(外国語活動)と協議会</li> <li>・兼務の授業(音楽科)</li> <li>・授業参観</li> <li>・「学習指導・生活指導上の連携表」見直し</li> <li>・公開授業(互見授業)参観</li> <li>・歯と口の健康教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の情報交換</li> <li>・ゼロメディア運動</li> <li>・小中合同挨拶運動</li> <li>・ハートフル活動</li> <li>・祇園祭後早朝清掃</li> <li>・小中合同標語募集</li> <li>・小中連絡会</li> </ul>
北部中校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の小中連携会議(教頭)</li> <li>・生徒指導主事会議(学習上、生活上の問題について)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月体育科教員による陸上指導</li> <li>・小学校への乗り入れ授業</li> <li>・授業参観</li> <li>・10月音楽科教員による合唱・器楽指導</li> <li>・12月入学説明会での「学習の手引」配布と中学校授業体験</li> <li>・3月春休み6年共通課題の配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月小中連絡会</li> <li>・家庭学習週間</li> <li>・挨拶運動</li> <li>・3月個別連絡会</li> <li>・小中連絡会</li> </ul>
西部中校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携推進委員会(教頭)</li> <li>・小中連絡会議(教務主任)</li> <li>・生徒指導情報交換会(生徒指導主事、養護教諭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月体育科教員による、3小学校高学年対象陸上指導</li> <li>・授業参観</li> <li>・西部中学校互見授業週間</li> <li>・10月音楽科教員による合唱・器楽指導</li> <li>・12月入学説明会での中学校授業体験</li> <li>・理科教員による3小学校6年生対象理科実験授業体験</li> <li>・「小学校のまとめ」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月小中連絡会</li> <li>・家庭学習強化週間</li> <li>・さわやかあいさつ運動</li> <li>・小中連携ふるさと美化活動</li> <li>・小中連絡会</li> <li>・ブラスバンド部演奏活動</li> </ul>
十三中校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携推進委員会(学習面、生活面の情報交換)(新入生テストや全国学力・学習状況調査の結果等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観と協議会</li> <li>・家庭学習週間(時間確保とアウトメディア)</li> <li>・英語科教員による、乗り入れTT外国語活動授業</li> <li>・入学説明会での授業参観</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習週間</li> <li>・資源回収</li> <li>・さわやか運動(挨拶運動と校区清掃)</li> <li>・きずなの森整備活動</li> <li>・小中連絡会</li> </ul>
灘浦中校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月推進委員会(校長)</li> <li>・5月連絡会議(教頭、教務主任)</li> <li>・9月連絡会議(教務主任、生徒指導主事、研究主任)</li> <li>・2月推進委員会(校長、教頭、教務主任)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽科教員による、6年乗り入れTT音楽科授業(毎週木曜日)</li> <li>・授業参観</li> <li>・灘浦中学校互見授業週間</li> <li>・理科教員による、6年乗り入れTT理科授業と協議会</li> <li>・英語科教員による、6年乗り入れTT外国語活動授業</li> <li>・入学説明会(北部中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中情報交換会</li> <li>・学習及び生活のきまりに関する系統表の作成</li> <li>・灘浦クリーン作戦</li> <li>・虹が島清掃</li> <li>・挨拶運動</li> <li>・小中連絡会(北部中)</li> </ul>
西條中校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員会(教頭)</li> <li>・連携実務者会議(教務)(9年間を見通した学習規律、生徒指導の連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月体育科教員による窪小陸上乗り入れTT授業</li> <li>・授業参観</li> <li>・小学校への乗り入れ授業(音楽科)</li> <li>・入学説明会での中学校授業体験</li> <li>・西條中教頭の乗り入れ授業(中学校生活への心構え)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶運動</li> <li>・家庭学習週間</li> <li>・小中連絡会</li> <li>・小中合同ケース会議</li> </ul>

## 夏季研修会のお知らせ

本年度の夏季休業中における研修を下記のように計画しました。本年度は、「理論に基づいた実践的指導力の向上」をテーマに、今日的な教育課題を踏まえた研修会を企画しました。

研修会申込みは、電子データ（5/24 送付済）にて、7月12日（火）までに、氷見市総合教育センターへ提出くださるようお願いいたします。

研修会名・内容・講師等		実施日等	対象者・備考
1	<b>仲間に学ぶ研修会</b> 講師 氷見市立比美乃江小学校 教諭 大菱池 仁子先生 氷見市立西條中学校 教諭 栗原 千恵先生 内容 教育カウンセリング、特別支援教育	7月27日（水） 13:30～16:45 教文4階ホール	・20～30代教員 ・希望者
2	<b>道徳教育研修会</b> 講師 金沢工業大学 教授 白木 みどり 先生 演題 「『特別の教科 道徳』理論と実践（案）」	8月3日（水） 13:30～15:30 教文4階ホール	・各校1/4程度の教員 （道徳教育推進教師を含む）
3	<b>第2回幼保小接続研修会</b> 講師 上越教育大学 教授 瀬戸 健 先生 講師 北海道教育大学 教授 阿部 美穂子 先生 内容 公開保育体験・保育園給食試食会 等	8月4日（木） 9:00～16:45 上伊勢保育園 阿尾保育園	・小1学年担任 ・希望者 ※子育て支援課と連携開催
4	<b>幼保小連携教育合同講演会</b> 講師 北海道教育大学 教授 阿部 美穂子 先生 内容 幼保小連携教育について	8月4日（木） 13:30～15:00 いきいき元気館	・希望者 ※子育て支援課と連携開催
5	<b>ふるさと学習研修会</b> 講師 博物館学芸員外 会場 氷見漁港、魚々座、氷見ラボ水族館、博物館等	8月9日（火） 7:00～12:00 市内各会場	・新採 ・今年度氷見市へ転入した教員 ・希望者（小3・4学年担任）
6	<b>第2回生徒指導研修会</b> 講師 西部教育事務所 主任生活指導主事 畑井俊信先生 内容 情報モラルとネットトラブルについて	8月9日（火） 15:00～16:45 教文4階ホール	・生徒指導主事、情報担当 ・希望者
7	<b>第3回生徒指導研修会</b> 講師 愛媛大学 教授 平松 義樹 先生 演題 「教えること、育てること、そして、愛すること」	8月23日（火） 9:30～11:45 教文4階ホール	・各校1/3程度の教員 （生徒指導主事、養護教諭を含む）
8	<b>外国語活動研修会</b> 講師 西部教育事務所 指導主事 豊原 正貴 先生 内容 外国語活動における課題と具体的な取組について	8月24日（水） 14:30～16:45 教文4階ホール	・外国語活動担当 ・中学校英語科教員各校1名 ・希望者
9	<b>第2回教育セミナー（兼 第3回学力向上研修会）</b> 講師 國學院大学 教授 杉田 洋 先生 演題 「アクティブ・ラーニングと学級づくり」	8月29日（月） 10:15～12:00 教文4階ホール	・各校1/2程度の教員 （学力向上推進委員を含む）

### 若手研修会について

若手教員の指導力向上を目指し、児童生徒理解や指導方法等について学び合い、ネットワークを構築する機会とします。

研修会名・内容・講師等		実施日等	対象者・備考
1	<b>テーマ 授業づくり</b> 授業者 氷見市立比美乃江小学校 教諭 越前 雄介 先生 内容 小学校3年算数教科「わり算のしかたを考えよう」 講師 上越教育大学 教授 瀬戸 健 先生 演題 「関わりのある授業づくりと学力保障」	6月28日（火） 13:45～16:45 比美乃江小	・小学校 ※氷見市教育総合センター第2回学力向上研修会と兼ねる
2	<b>テーマ カウンセリング</b> 講師 氷見市教育総合センター 所長 光安 淳子 先生 演題 「子供・保護者とつながるカウンセリングの理論と実践」	7月1日（金） 17:30～19:00 教文第一会議室	・小中学校
3	<b>テーマ 学級づくり</b> 講師 氷見市立朝日丘小学校 教諭 山崎 里美 先生 内容 一人一人が輝く学級づくりの理論と実践	8月8日（月） 17:00～18:30 教文第一会議室	・小学校 ※終了後、懇親会
4	<b>テーマ 生徒指導</b> 講師 氷見市立西條中学校 教頭 櫻打 佳浩 先生 内容 生徒指導の機能を生かした集団づくりの理論と実践 ～生徒が輝く学級運営・部活動運営を目指して～	8月10日（水） 17:00～18:30 教文第一会議室	・中学校 ※終了後、懇親会
5	<b>テーマ 特別活動</b> 講師 氷見市立窪小学校 教頭 平井 尚久 先生 内容 望ましい集団活動の在り方について ～特別活動の理論と実践～	9月27日（火） 17:30～19:00 教文第一会議室	・小学校
6	<b>テーマ 特別支援教育</b> 講師 氷見市小中学校派遣スクールカウンセラー 氷見市スクールソーシャルワーカー 等 内容 特別な支援を必要とする児童理解の理論と実践 ～チームによる支援の在り方 事例研究を通して～	11月22日（火） 17:30～19:00 教文第一会議室	・小学校

＜本研修会の参加を希望する教員（原則8年次まで）は、6月22日（水）までにFAX送信票（6/9 送付済）を教育総合センターに送信してください。＞